

別表 2 (先進医療として厚生労働大臣が告示したものうち各治療内容ごとに追加的に実施される場合があるもの)

別表 1 の治療 内容	先進医療（申請）技術名	技術の概要
③	ヒアルロン酸を用いた生理学的精子選択術 (PICSI)	ヒアルロン酸を含有する培地を用いて、成熟精子の選択を行う技術。
	強拡大顕微鏡を用いた形態学的精子選択術 (IMSI)	強拡大の顕微鏡を用いて、成熟精子の選択を行う技術。
④	タイムラプス撮像法による受精卵・胚培養 (タイムラプス)	培養器に内蔵されたカメラによって、胚培養中の胚を一定間隔で自動撮影し、培養器から取り出すことなく、正確な胚の評価が可能となる技術。
⑥	子宮内膜刺激術 (SEET法)	胚培養液を胚移植数日前に子宮に注入し、受精卵の着床に適した環境を作り出す技術。
	子宮内膜擦過術 (子宮内膜スクラッチ)	胚移植を行う予定の前周期に子宮内膜のスクラッチ（局所内膜損傷を与える）を行い、翌周期に胚移植を行う技術。
	子宮内膜受容能検査 1 (BRA検査)	子宮内膜を採取し、次世代シーケンサーを用いて遺伝子の発現を解析し、内膜組織が着床に適した状態であるのかを評価する検査。
	子宮内細菌叢検査 1 (EMMA/ ALICE検査)	子宮内の細菌叢が、正常であるのか、異常であるのか、またその菌の種類の組成を判断する検査。
	子宮内細菌叢検査 2 (子宮内フローラ検査)	子宮内の細菌叢が、正常であるのか、異常であるのか、またその菌の種類の組成を判断する検査。
	子宮内膜受容能検査 2 (子宮内膜受容期検査 (ERPeak検査))	子宮内膜を採取し、RT-qPCRを用いて遺伝子の発現を解析し、内膜組織が着床に適した状態であるのかを評価する検査。
	タクロリムス投与療法 (タクロリムス投与療法)	反復着床不全に対して、免疫抑制剤（タクロリムス）の投与を行う技術。
	着床前胚異数性検査 (PGT-A)	胚から一部の細胞を採取して染色体の量の解析を行い、染色体数が正常な胚を選択する技術。
	二段階胚移植術 (二段階胚移植法)	先行して初期胚を移植し、後日、継続培養を行った別の胚盤胞を移植する技術。
	膜構造を用いた生理学的精子選択術 (マイクロ流体技術を用いた精子選別)	特殊な膜構造を用いて、成熟精子の選択を行う技術。

先進医療として告示されている不妊治療関連の技術